

中期経営計画の振り返り

当行グループは、2019年にスタートした中期経営計画「Innovation 新次元」から取り組んできた6年間の改革を経て、2025年4月に、新たな中期経営計画「Growth with “Purpose”」を制定しました。新中期経営計画では、これまで取り組んできたパーパスに基づく経営をより高次元にしていけるとともに、お客さま・地域、当行グループ、役員一人ひとりの成長をめざします。

フォアキャスト

2019

前々中期経営計画 Innovation 新次元

6年間の「Innovation (改革)」を経て成長をつかむ

基本方針

3つの改革による
経営プラットフォームの転換

- ① プロセス改革
- ② チャネル改革
- ③ 人材改革

ビジネスモデルの進化による
高度な価値実現

2022

前中期経営計画 Innovation for “Purpose”

基本方針

「つなぐ・つむぐ」の基盤となる
デジタル戦略の遂行

5つの改革による
「つなぐ」力の強化

- ① 営業プロセス改革
- ② 業務プロセス改革
- ③ チャネル改革
- ④ 人材改革
- ⑤ 外部連携改革

「つなぐ」力の発揮により
未来を「つむぐ」

2025

新中期経営計画 Growth with “Purpose”

パーパス経営を高次元にし3つの成長を目指す

お客さまや地域の成長
当行グループの成長
役員一人ひとりの成長

基本方針Ⅰ

社会的価値・経済的価値の
好循環の構築

戦略テーマ①

“パーパス営業”の深化

〔社会的価値〕

戦略テーマ②

サステナブルな
地域経済圏構築への挑戦

〔経済的価値〕

基本方針Ⅱ

持続的な成長を支える
事業基盤の強化

戦略テーマ

- ① DX・業務改革
- ② データ利活用
- ③ 人的資本
- ④ RORA経営
- ⑤ ガバナンス
- ⑥ グループ連携・外部連携

めざす未来

地域社会と
群馬銀行グループの
持続的な発展

2021年11月 パーパス制定：

私たちは「つなぐ」力で 地域の未来をつむぎます

バックキャスト

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2027年度
コア業務純益(億円) (投資信託解約損益除き)	300	306	368	399	454	555	800億円
非金利業務利益(億円)	171	191	205	210	242	256	350億円
親会社株主に 帰属する 当期純利益(億円)	222	135	264	279	311	439	600億円
OHR(%)	65.1	64.4	60.0	56.6	53.4	49.6	45%程度
ROE(%)	4.4	2.6	4.9	5.3	5.7	7.7	10%以上